

**令和 2 年度
在宅医療・介護連携推進会議**

**「enishinari シート」(西成区連携シート)
活用状況調査(アンケート)報告書**

令和 3 年 3 月
大阪市西成区役所

I 調査の概要

1. 調査の目的

「enishi nari シート」(西成区連携シート)は多職種間で連携を図るためのアポイントメントシートとして、2019年1月に活用を始めました。

活用から1年が経過し試用期間が過ぎましたので活用状況について調査(事業者アンケート調査)を実施する。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象 西成区在宅医療・介護連携推進会議を構成する西成区医師会(以下、「医師会」という)、西成区歯科医師会(以下、「歯科医師会」という)、西成区薬剤師会(以下、「薬剤師会」という)、西成区訪問看護ステーション連絡会(以下、「訪看連絡会」という)、西成区福祉事業者連絡会(以下、「福祉連絡会」という)、西成区地域包括支援センター連絡会(以下、「包括」という)の各会員の事業者
- (2) 調査方法 直接・郵送・FAXによる配布後、FAXまたは郵送による回収
- (3) 調査期間 令和3年1月18日～2月5日

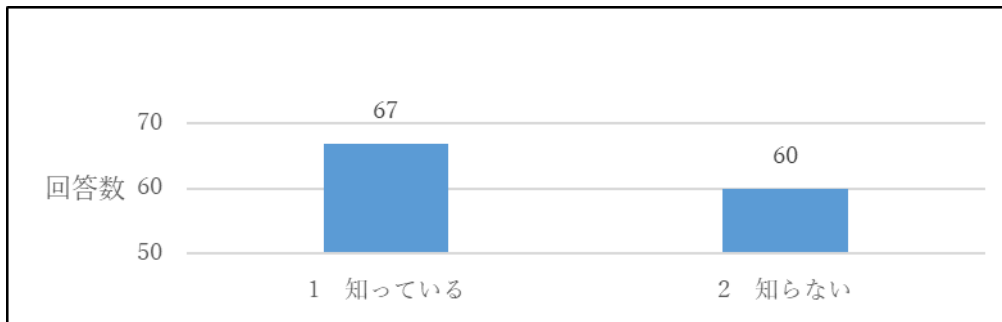
3. 回収状況

回収数 127 事業所

II 調査の結果

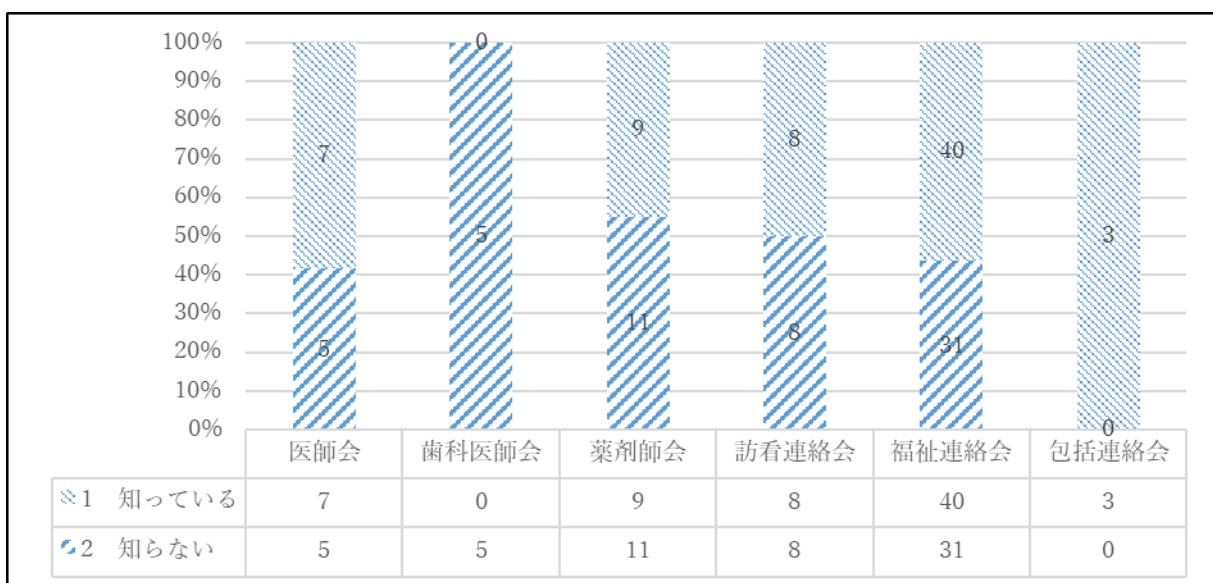
設問1 enishinari シート（西成区連携シート）を知っていますか？

【全体】



「知っている」が67事業者、「知らない」が60事業者となっている。

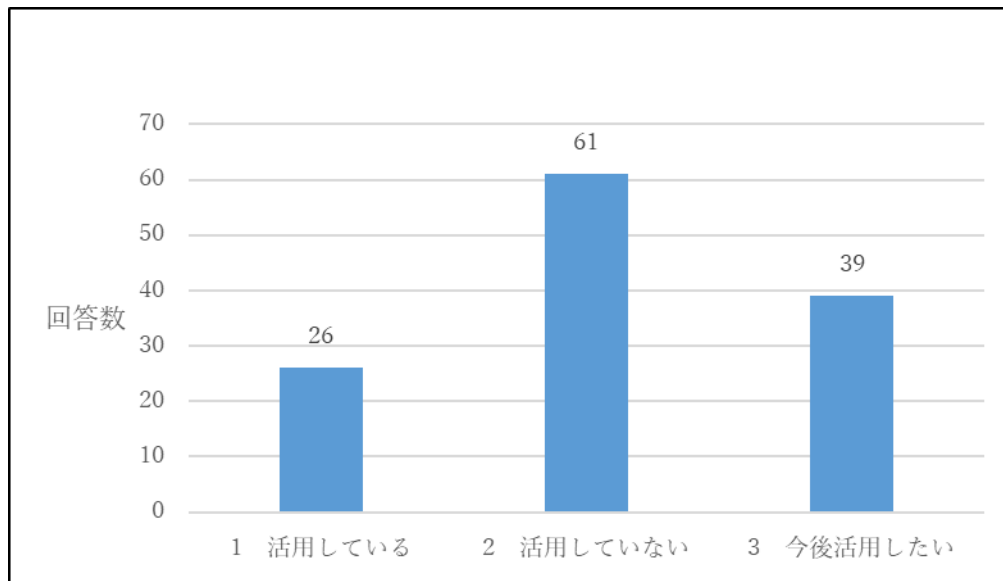
【各会別】



歯科医師会と包括連絡会を除く各会では、「知っている」と「知らない」がほぼ半数になっている。

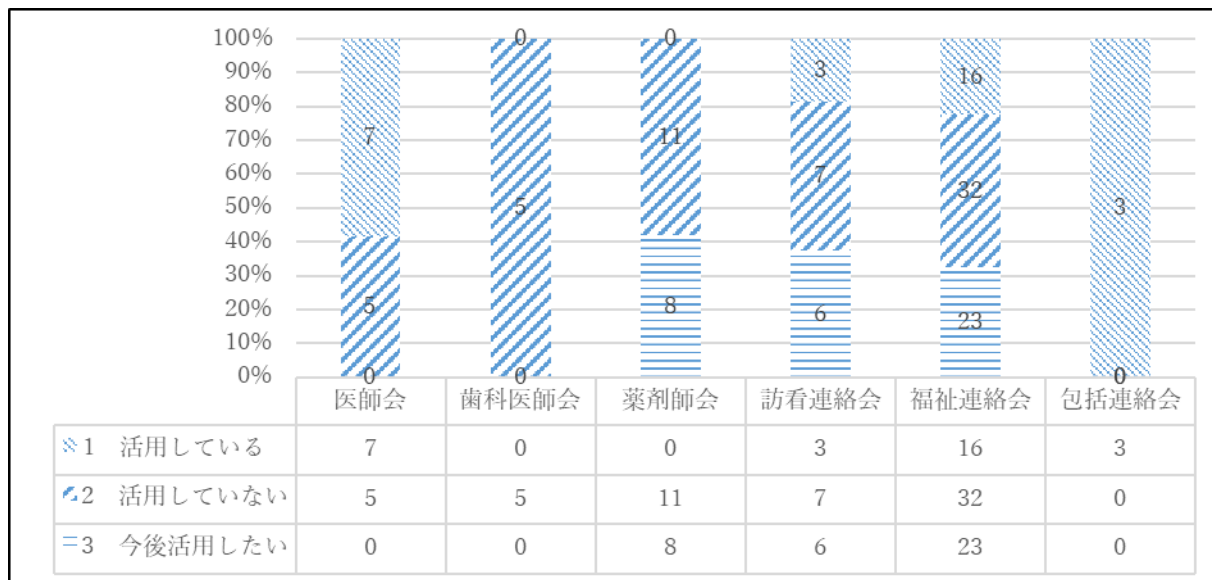
設問2 enishinari シート（西成区連携シート）を活用していますか？

【全体】



「活用している」が 26 事業者、「活用していない」が 61 事業者、「今後活用したい」が 39 事業者となっている。

【各会別】



医師会では「活用している」と「活用していない」がほぼ半数であるが、歯科医師会は全て「活用していない」、薬剤師会・訪看連絡会・福祉連絡会では、30～40%程度の事業者が「今後活用したい」となっている。包括連絡会は回答があった全事業者が「活用している」と回答。

設問3 活用している方に伺います。

3-1 これまでのおおよその利用件数をお答えください（ ）件

【全体】

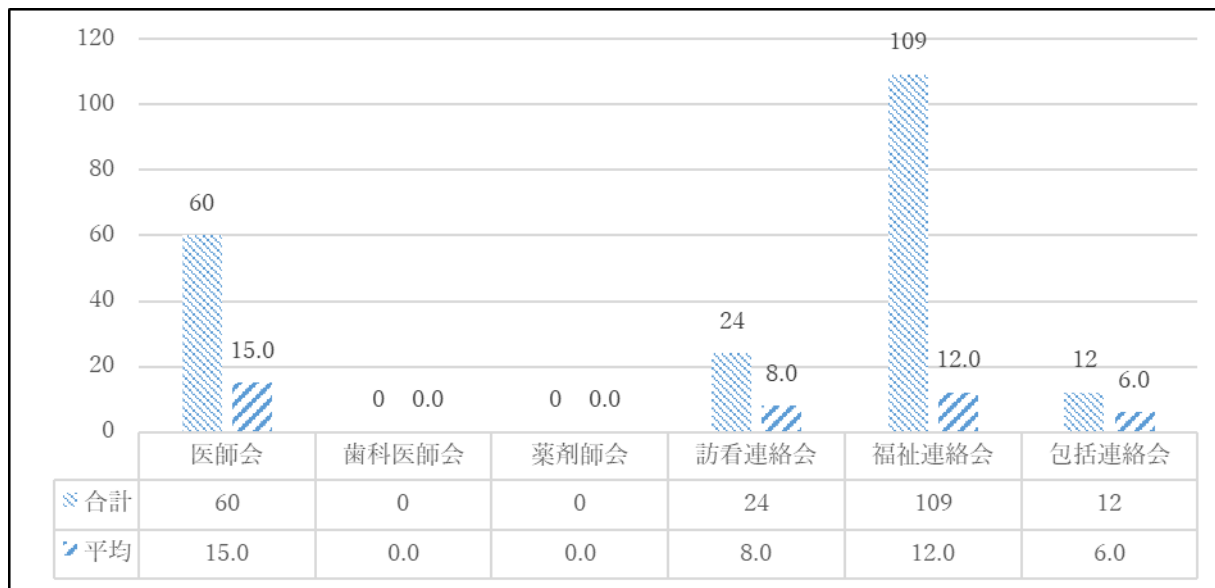
回答があった事業者 23 事業者

回答があった事業者の合計利用件数 205 件

回答があった事業者の平均利用件数 9.8 件

※回答に「多数」と記載のあった分は含めず

【各会別】

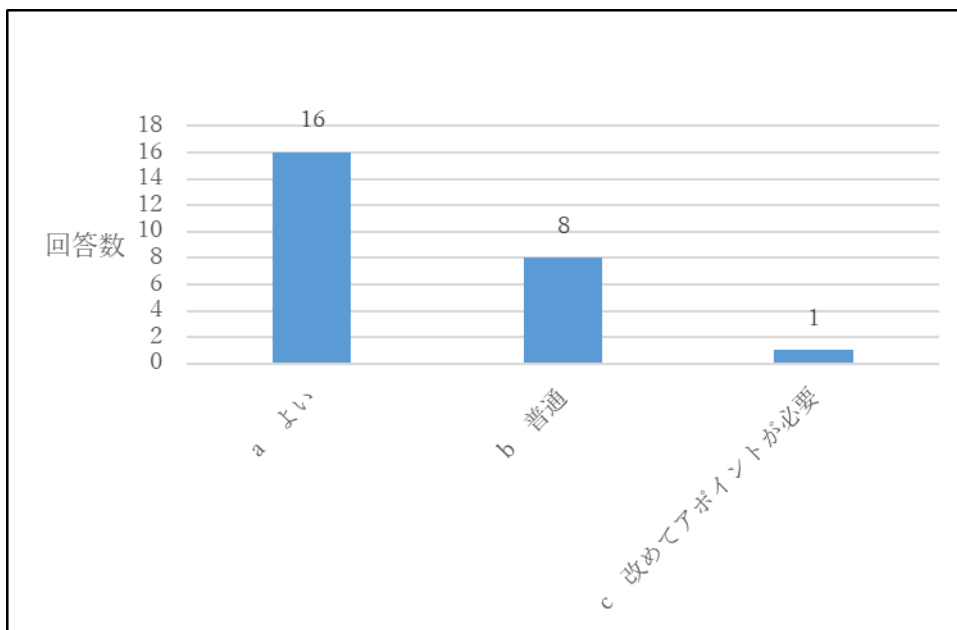


福祉連絡会が 14 事業者から利用件数の回答があり最も多かった。次に医師会、訪看連絡会、包括連絡会の順となっている。

設問3 活用している方に伺います。

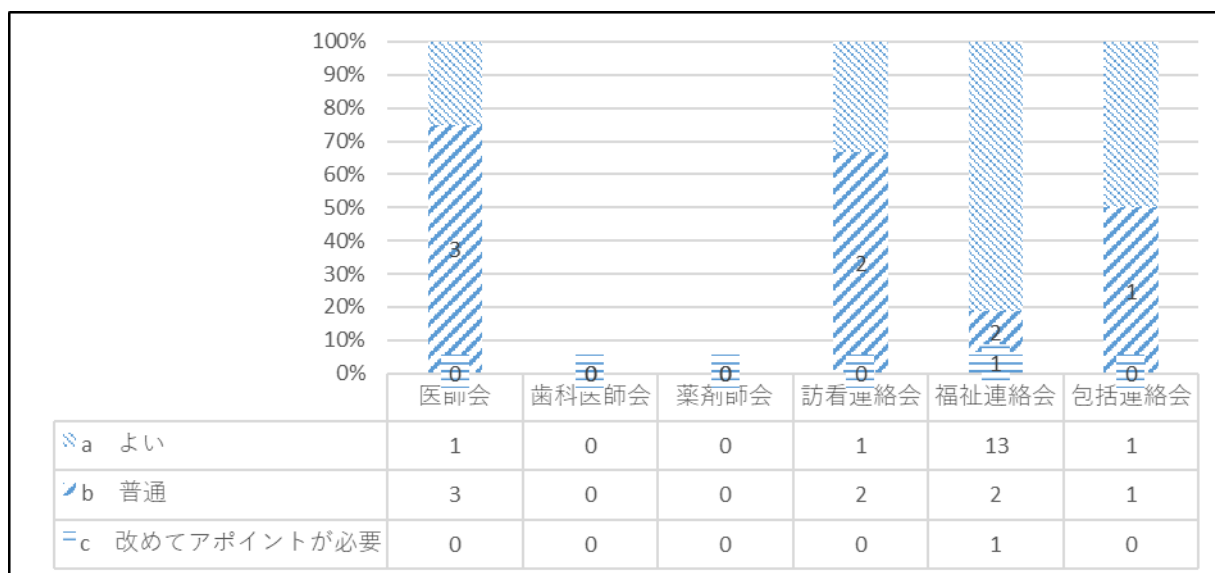
3-2 連携先とその後の連絡はどうでしたか。

【全体】



回答があった25事業者のうち「よい」と回答した事業者は16事業者64.0%、「普通」と回答した事業者は8事業者32.0%、「改めてアポイントが必要」と回答した事業者は1事業者となっている。

【各会別】



福祉連絡会では、16事業者のうち「よい」と回答した事業者は13事業者81.3%となっているが、医師会・訪看連絡会では、「普通」が「よい」を上回っている。

【a よいの主な理由】

- 医師がほぼ返信してくれる。
- 医師がこのシートを活用している。
- 西成区で共通のものなので医師にも送りやすい。
- 主に主治医の先生との報告・相談に利用していて、通院同行できないときや緊急で返事が載きたいときに助かった。
- 目的を理解してもらいやすい。
- 連携シートでの返信が高く記録にもなり、その後の連絡が取りやすくなった。
- 最初のあいさつが連携シートを利用することでしやすくなった。
- かかりつけ医（在宅往診医）との連携は良いが他医師へは面談の方がスムーズ。
- 訪問や医師の手間を省ける。

【b 普通の主な理由】

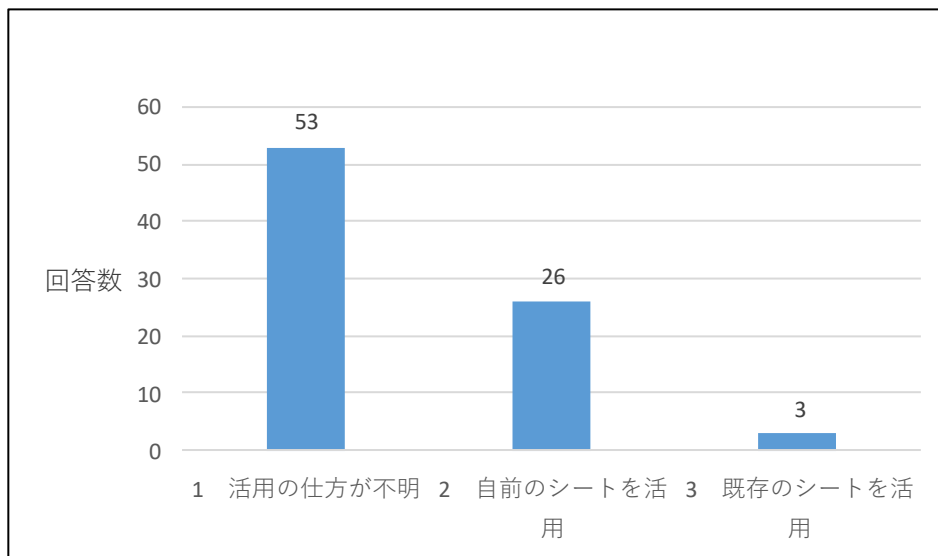
- 少し複雑に感じる。

【c 改めてアポイントが必要な理由】

- なし

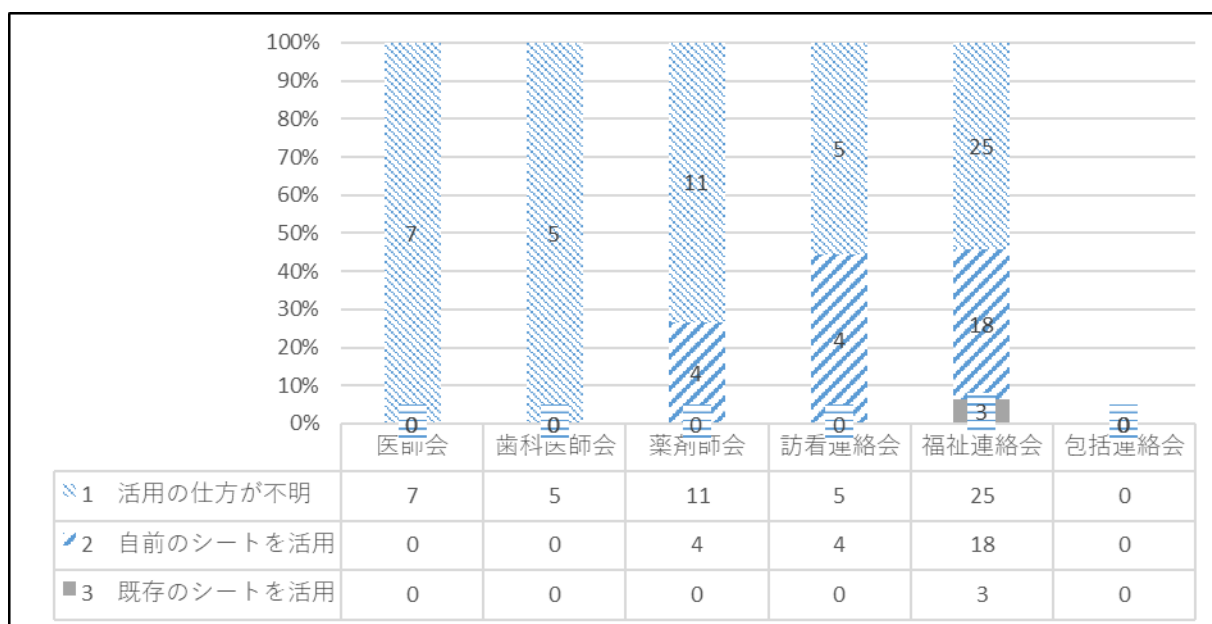
設問4 活用していない方に伺います。理由をお答えください。

【全体】



回答があった82事業者（設問2で「2活用していない」及び「3今後活用したい」と回答した100事業者の一部が回答）のうち、「活用の仕方が不明」と回答した事業者は53事業者64.6%、「自前のシートを活用」と回答した事業者は26事業者31.7%、「既存のシートを活用している」と回答した事業者は3事業者3.7%となっている。

【各会別】



医師会・歯科医師会では、回答があった全事業者が「活用の仕方が不明」と回答。薬剤師会では73.3%、訪看連絡会では55.6%、福祉連絡会では54.3%が「活用の仕方が不明」と回答し、「自前のシートを活用」と回答した事業者が、薬剤師会26.7%、訪看連絡会44.4%、福祉連絡会39.1%となっている。

※既存のシートでは、ケアマネオンラインからのダウンロードや入院時連携シートがあった。

設問5 enishinari シート（西成区連携シート）に関してご意見があればお聞かせください。

【主な意見（No.1）】

- 何のことかわからなかった。もっと宣伝をしてほしい。
- 非常に良いと思うが、介護ソフトと連携している様式の方が入力する手間がなく使いやすい。
- 複雑。注意すべき点多々。もっと簡単に短時間で完成できるシートができないかと思っている。
- 電話や E メール、事業所によっては chatwort での情報共有をしている。このシートは時間がかかり（記入等）実際の業務では使用しづらいと思う。
- いろいろな場面で活用できるので良いと思う。
- 他区の連携シートを使うこともあったが、西成区のものを使いやすく、他区の医師とも西成区連携シートを使っている。
- 利用者と受診同行の時に医師に伺うことが多いため活用が少ないのが現状。
- Fax のやりとりは少ないので、あまり活用できていない。
- このシートが医師会全ての医師に認知されているのかと思いながら活用している。シートを送付した後は必ず電話も入れるようにしている。
- 電話を使用しての情報交換が多い。他区より同様のシートが送付されてきたことがあり enishinari シートは、西成区のみ有効と認識しているが、逆に西成区から他区への情報提供の際に使用も可能か？また、その際にコストの算定なしと伝えても良いのか？
- まだ介護を受けたことのない人が、認知の度合いがひどいと感じた時、社会福祉協議会の連絡に使ってもよいのか？

設問5 enishinari シート（西成区連携シート）に関してご意見があればお聞かせください。

【主な意見（No.2）】

○フリーコメントを記入するスペースが少ない。どちらかというと、ケアマネさんが多職種に向けて使うのに、向いているのではないか？

○どこまでの範囲で利用すればいいのか分からない。

○日常業務において enishinari シートを使用する場面があまり無い。電話、直接対面、Mail がほとんどで FAX でのやりとりが少ない。

○1 回しか利用してないが、1 回目の時に、シートを知らない様子だったのであまり周知されていないのかと思い、以後使っていないが、活用できたら便利だと思う。

○結局、情報提供はワード作成が早く作成できる。回答用件はほとんど TEL で済ませている。

相手方、特に医療機関は地域連携室もクリニックも HSW・Dr.、NS 等忙しく業務されているので郵送、FAX は手間や紛失の気づかいが気の毒。TEL で依頼しても、必ず回答はいただけるので活用していない。